

2023年12月25日
日本船主協会企画部広報室

海運の重要性を学校教育の場で
～北海道にて中学生を対象に海事講座を実施～

当協会は、「開運」じゃなくて、「海運」です。」というキャッチコピーのもと、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、教育関係者に対し海事施設等の見学会や出前授業への協力、資料提供等を実施しております。

11月13日(月)、北海道江差町の中学1年生約40名を対象に、江差町から発着するハートランドフェリー見学会(北海道運輸局函館運輸支局主催)の機会を捉え、北海道運輸局函館運輸支局、ハートランドフェリーおよび北海道海事広報協会等の協力の下、海事講座を実施しましたので、その様子をお知らせします。

生徒たちは、まず2班に分かれ、船内見学では見晴らしのよいブリッジ、奥尻島と江差町間の物流を支える車両甲板等を見てまわり、船員体験(ロープワーク体験)では、複雑なロープワーク等を体験しました。



ブリッジ見学の様子



車両甲板見学の様子



ロープワーク体験の様子



海事講座の様子

続いて当協会からは、海運が生活に必要なものの大部分と密接に係わっており、食料自給率の高い北海道でも、農畜産物のための肥料や飼料、生活物資等の大部分は輸入に依存していること、本州との物流はその多くを船、特にフェリーが支えていることについて紹介し、多くの人が物流に係わっているなかで、船員という職業にも目を向けていただくよう呼びかけました。

当協会では、今後も海事関連団体・企業などと連携しながら、海事産業をより教育に取り上げてもらえるよう広報活動に注力してまいります。

以上